

読書で はぐくもう 子どもの夢・未来

～全国読書フェスティバル京都大会を開催～

「子どもたちが本に親しみ、読書の楽しさを知る」ことを目指して、京都府教育委員会では文部科学省等と共催で、1月28日(土)に、亀岡市の「ギャラリーかめおか」において「全国読書フェスティバル京都大会」を開催しました。



◆松谷みよ子さん記念講演

『ちいさいモモちゃん』から『小説・捨てていく話』まで
児童文学作家の松谷みよ子さんは、静かな中にも力のこもった口調で、作家として歩んでこられた道筋、語りかけや読み聞かせの大切さについて語られました。

◆童話コンサート・絵本コンサート

俳優の常田富士男さんと音登夢(おととむ)の共演による童話コンサートやケロボソの絵本コンサートでは、歌や音楽とともにお話の世界がくり広げられました。

◆パネルディスカッション

「子どもたちに贈ろう！豊かな言葉と夢・未来」

コーディネーター (大蔵流狂言師) 茂山 千三郎さん
パネリスト (作家) 富安 陽子さん
(教員) 瀬尾 まいこさん
(俳優) 三田 寛子さん
(俳優) 辰巳 琢郎さん

本との出会いを通じて、豊かな感性や美しい言葉が磨かれ表現力が高められることを、それぞれの立場からお話されました。

◆読書の楽しさが会場いっぱいに広がって

京都府内で活躍中の17のボランティア団体や、高校生、大学生等によるおはなし会や手作り工作など、様々な催しが行われました。
楽しい雰囲気の中で、「本に触れ本に親しむ」多くの子どもたちの姿が見られました。

この京都大会での成果をもとに、子どもたちが「自ら本に手を伸ばし読書を楽しむ」ことができるよう、学校や図書館、民間団体等とのより一層の連携・協力を進めていきます。



みんなで読もう！ 1000万冊読書キャンペーン

京都府教育委員会では平成16年3月に「京都府子ども読書活動推進計画」を策定し、学校、家庭、地域社会の連携のもとに子どもの読書活動の推進を図っています。この1月28日(土)からは府民みんなで読書に親しみ、子どもたちに豊かな心をはぐくむことをねらいとして、「みんなで読もう！1000万冊読書キャンペーン」を実施しています。

キャンペーンには、山田京都府知事やオリンピック銀メダリスト武田美保さんからの応援メッセージも届いています。また、家庭や学校・幼稚園・保育園などでの読書冊数を下記のホームページに入力していただき、読書総数や年代別の読書数、よく読まれた本のジャンル等も集計し、掲載していますので、ぜひご覧いただき、みんなで1000万冊を目指してより多くの本を読んでいきましょう。

ホームページアドレス <http://kyoto-book1000.jp/>

みんなで読もう！ 1000万冊 読書キャンペーン



京都府教育委員会においては、平成16年3月に「京都府子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、家庭や学校、地域社会が互いに協力して、社会全体で読書活動の推進を図る取組を進めています。

京都府民みんなで読書活動を推進する社会的気運を一層盛り上げ、子どもたちがより本に親しみ、豊かな心をはぐくむことをねらいとして「みんなで読もう！1000万冊読書キャンペーン」を実施しています。

たれでもどこでも、インターネットに接続されたパソコンから入力できます！
保育所、幼稚園、学校はもちろんのこと、個人からもキャンペーンに参加できます！



府民みんなで
たくさん本を
読みましょう！



次のホームページから入力してください。
<http://kyoto-book1000.jp/> 京都府教育委員会

教員希望者へのキャリア教育と 高い志を持った教員の確保に向けて



を深め、進路選択の際の参考となるように実施したものです。

当日、両会場あわせて300名を超える府立高校生が参加し、現職管理職の講演や若手教員の体験談やアドバイス、教員採用の状況の説明を聞き、自分自身の将来について考える一日となりました。

参加した高校生は、担任に「感激しました。絶対先生になります。」とい

平成17年12月17日、京都市と綾部市の南・北2会場において「高校生HEARTセミナー」を開催しました。

今回、初めて開催したこのセミナーは、キャリア教育の一環として、将来、教員を目指そうとする府立高校生を対象に教員という職業について、認識

った報告があったり、「大変だけど、感動いっぱいの職業だとわかった。」といった感想が寄せられるなど、大きな反響がありました。

京都府教育委員会では目的意識をしっかりとった優秀な教員を採用したいと考え、教員を目指す高校生に必要な情報を提供するとともに、大学生に対しては実践力ある教員の養成を支援する「教員養成サポートセミナー」などを実施しています。

また、採用予定者に対しても、「事前研修会」を実施し、教職に就くことの意味を再認識させるなど、養成、採用段階においても資質向上に向けての様々な取組を進めています。



まなび教育推進プラン

京都府教育委員会では、生涯にわたって学び続ける基盤を培うという観点に立って、基礎・基本を徹底して「確かな学力」の向上を図る取組や不登校の解決に向けた取組についての具体的な充実策を策定し、京都府における教育改革を着実に推進するため、大学教授、スクールカウンセラー、民間施設代表者、マスコミ関係者、保護者や小中学校の先生など23名の方に参画していただき、計10回にわたる検討会議を重ね、この度「まなび教育推進プラン」を取りまとめました。

特に平成18年度においては、府内市町村教育委員会と協議しながら、重点施策として次のことを推進します。

「確かな学力」の向上

- ◆ 児童生徒に確かな学力の基盤となる国語力の育成を図るため
 - ◎ 「みんなで読もう！1000万冊読書キャンペーン」等、学校教育と社会教育が一体となった読書活動の推進
 - ◎ 学校図書館支援ボランティアの養成や研修を実施するなど、学校図書館等の機能の充実
 - ◎ 音読・暗唱大会等の実施など、児童生徒の表現力と理解力の育成
- ◆ 児童生徒に学習習慣を定着させ自ら学ぶ力の育成を図るための取組の推進
- ◆ 児童生徒の基礎学力の定着と学力の向上を図るため、子どものための京都式少人数教育による、学校や児童生徒の状況に応じたより一層効果的な少人数教育の充実

不登校総合対策

- ◆ 「相談室等における学習支援や相談活動」の充実
 - ◎ 小中学校に相談室等で学習支援や相談活動を行うサポーターを配置
- ◆ 「学校と民間施設との連携」の促進
 - ◎ 民間施設において、学習や体験プログラムの開発等を研究する施策を拡充
- ◆ 「相談体制・機能」の充実
 - ◎ 全中学校にスクールカウンセラーを配置
 - ◎ 中学校については、不登校生徒数の多い学校に、スクールカウンセラーの配置時間を拡充
 - ◎ 高等学校については、スクールカウンセラーの配置校を拡充
 - ◎ 府総合教育センター及び北部研修所にスーパーバイザーの配置を拡充

乙訓教育局

理科離れ解決に 企業のアイデア ～「京のエジソン」育成中～

乙訓教育局では、平成16年度から取組を始めた産業界との協働事業「京のエジソンプログラム」のメニューとして、管内小・中学校での「優良教材開発」を実施しています。

今回は、企業の環境関連技術などを生かした教材として、「乙訓名産の竹を用いた大気汚染度測定器」（向日市立第2向陽小）、「手作り反射望遠鏡」（同第4向陽小）、「熱帯樹木での水浄化」（同寺戸中）、「キャベツを煮出した酸性雨指示薬抽出」（大山崎町立大山崎小）が「優良教材」に選定されました。

体で感じ取る教材により児童生徒自らが「理科離れ」を解決していく取組として、授業に生かされています。

昨年末の「京都環境フェスティバル」における優良教材の展示は、大変好評を博しました。



児童の教材制作風景

きょういく きた みなみ

南丹教育局

「キッズふれあい駅伝」 開催

12月10日（土）、南丹地区の全小学校44校、41チームが健脚を競う南丹地区小学校駅伝競走大会「キッズふれあい駅伝」が、京都府立丹波自然運動公園陸上競技場で初めて開催されました。

駅伝競走の部と持久走の部があり、駅伝競走の部では、園部第二小学校が優勝を勝ちとり、2位に園部小学校、3位に千代川小学校が入りました。

この駅伝は、管内の小・中・高等学校等連絡協議会、市町教育委員会、PTA連絡協議会、青年会議所、南丹広域振興局など、広範囲にわたる協力の下、南丹地域振興計画に基づく青少年育成の地域ネットワークづくりにつながるものとなりました。

冬の晴れ間の1日、大きな声援を受けて走る子どもたちの誇らしげな姿が、観ている者の心を熱くしてくれました。



キッズふれあい駅伝・中継地点

大学と連携した「京都ならではの」取組が進んでいます

京都の地に蓄積された大学の知的財産と人材を学校教育に活用し、児童生徒の科学的探究心を養うなど、小・中・高校と大学が連携した取組が進んでいます。



「科学探偵士」特別授業
(大山崎町立大山崎小学校)
「花と虫たちの持ちつ持たれつー共生の世界」
河野昭一京都大学名誉教授の講義に聞き入る子どもたち

小・中学校では

多様な専門分野の著名人が、子どもたちの興味・関心や学習意欲を高める授業を行う「京の子どもへ夢大使（大志）」派遣事業を拡充し、今年度、京都大学の14名の教授等を「科学探偵士」「ITの達人」として府内30小・中学校に派遣しています。

大学の専門的な研究内容を分かりやすく盛り込みながら、子どもたちが楽しく体験的に学べる授業を実施しています。

ITを活用して

インターネット高速大容量回線の京都みらいネットを活用し、大学の模擬講義を京都市内から府北部の府立高校へ配信する「京の学び探訪2005」事業を、今年度は9大学10講座で実施しました。

生徒たちは各学校で大学の講義を体験でき、学習意欲の向上と自らの進路を考える好機となりました。

府立高校では

スーパー・サイエンス・ハイスクール指定校やサイエンス・パートナーシップ・プログラム指定校を中心に、最先端の研究者の出前授業や大学での講義・実験・演習などを通して、生徒の学問的関心を引きだし、学習意欲を刺激する取組が多くの学校で広がっています。



京都大学化学研究所で実験・実習(府立桃山高校)

巡回相談にうかがえます

お子さんの発達や学校生活について、悩んでいることはありませんか。京都府教育委員会では、学びにくさや友達関係に難しさを感じている児童生徒に対する支援にも力を入れています。

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等の児童生徒が、より適切な指導と必要な支援を受けられるように、各学校では特別支援教育コーディネーターが中心になり、学校全体で取り組む体制づくりを進めています。

また、学校からの申込みに応じ、医師などの専門家や経験豊富な教員による巡回相談を実施しています。詳しくは各学校に配布しているパンフレットに記載していますので、お気軽にご利用ください。

問い合わせ先：京都府教育庁指導部 特別支援教育課 075-414-5835



～広げたい 伝えたい 人権への思い～

府内の各学校では、年間を通し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることを理解したり、日常生活において人権を大切にできる意識がその態度や行動で表したりできるようにさまざまな学習の一環として、ポスターや標語作りに取り組んでいます。

子どもたちの作品をご覧になり、作品にこめられた思いを感じ取っていただくとともに、人権を尊重することの大切さについて、子どもと一緒に考える機会にさせていただけたらと思います。



平成17年度人権擁護啓発ポスターコンクール
京都府教育長賞
福知山市立育英小学校 1年 日下 雄斗さん

小学生の部・最優秀賞

「ともだちと てをつなぐうね こころもね」

亀岡市立本梅小学校 1年 日下部 優哉さん

青少年の部・最優秀賞

「助けての 信号読みとる 力持て」

京都府立東宇治高等学校 3年 山本 豪さん

第4回みんなで創る人権五・七・五標語コンクール

--- 切り取って保存してください ---

トータルアドバイスセンター

～気軽にご相談ください～

子どもの成長や発達、不登校、いじめ、子育て、しつけなどについて臨床心理士や精神科医等が相談を受けます。

| | | |
|------------|---|--|
| | 府総合教育センター内 (伏見区) | 府総合教育センター 北部研修所内 (綾部市) |
| | ふれあい・すこやか telefon | |
| 電話 教育相談 | 毎日[祝日を除く] 8:30～20:30 ☎075-612-3268 ☎075-612-3301 | 月～金[祝日を除く] 10:00～19:00 ☎0773-43-0390 |
| | 来所 教育相談 | |
| | 月～金[祝日を除く] 10:00～17:00 (前もって上記の電話で予約してください) | |

総合型地域スポーツクラブ創設・育成に向けて

京都府広域スポーツセンターでは、府内の総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するため様々な取組を進めています。

クラブ創設を検討している地域やすでに創設されたクラブへ専任の「クラブ育成アドバイザー」が巡回し、それぞれの地域の特性を生かしたクラブづくりに向けた相談、運営の方法や会員募集の仕方等の指導を行っています。

関係者からは、「大変ていねいに指導いただき、クラブ育成に自信を持つことができた。」「クラブが、まちづくりに役立つよう頑張りたい。」などの声が相次ぎ、府内のクラブ創設・育成の大きな推進力になっています。

また、同センターでは、クラブ運営に関わる人材を育成するための各種講座の開催や府内のスポーツに関する情報を「京のOWNネット（スポーツ情報サイト）」で発信する事業も実施しています。



総合型地域スポーツクラブの取組が広がっています

問い合わせ先:

京都府広域
スポーツセンター

■京都テルサ内

TEL/FAX075-662-2424

■京都府教育庁指導部保健体育課内

TEL075-414-5864 FAX075-414-5863



「わがまち、見つけ隊」花いっぱい運動（亀岡市PTA連絡協議会）

「わがまち、見つけ隊」 地域貢献活動モデル事業

子どもたちの地域活動や世代間交流などの機会が減ってきている中、京都府教育委員会では、府PTA協議会に委託をして、「わがまち、見つけ隊」地域貢献活動モデル事業を府内の小・中学生を対象に、与謝・福天加・舞鶴・亀岡・乙訓・相楽の6ブロックPTAで実施しています。地域の方々や親と地域を巡る活動とともに、地域美化活動などの貢献活動を通して、子どもたちは、「わがまち」の素敵な所や、活動を応援していただいた地域の方々の素晴らしさを再発見しています。

府立学校の耐震化工事が進んでいます

京都府教育委員会では、阪神・淡路大震災を教訓に、児童生徒の安心・安全のため平成7年度から府立学校の耐震化事業を推進してきました。今年度（平成17年度）には、耐震化の速度をアップさせるため、大幅に耐震補強工事の予算を増額し、新たに8校8棟の補強工事に着手しました。

昨年度（平成16年度）から継続して行っている2校2棟の工事と合わせ、合計10校10棟の校舎・体育館について工事を行っており、一層の耐震化の推進に努めています。



校舎を鉄骨の「筋かい」で補強（洛水高校）

井手町石橋瓦窯跡

石橋瓦窯跡は、平成14年度に井手町教育委員会が行った発掘調査で見つかった奈良時代の瓦窯跡です。出土した瓦の文様から、平城京内に営まれた南都七大寺の一つ大安寺（奈良市）の瓦を作ったことがわかりました。また、当時の大安寺の財産を記した文献史料にある「棚倉瓦屋」と推定され、奈良時代の官寺の瓦生産体制が、発掘調査と文献史料の両面から裏付けられる重要な事例となりました。



井手町石橋瓦窯跡出土瓦

井手町では、遺跡の重要性から道路計画を変更して保存し、平成17年度には『史跡大安寺旧境内附石橋瓦窯跡』として国史跡に指定されることになりました。

シリーズ文化財

加悦町加悦伝統的 建造物群保存地区

丹後縮緬の生産地として有名な加悦町加悦地区が、平成17年12月27日、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。地区の中心には鈎の手状の曲がりを持つ街道が通り、南西に天満神社が鎮座する天神山があり、その山裾には宝蔵寺など三箇寺が寺町を形成しています。町並みの景観は、江戸時代から昭和初期にかけての主屋や土蔵、縮緬工場等の建物が中心で、主屋のミセノマ正面の格子窓や、ザシキ前に取り付く背の低い格子が特徴です。

街道筋には今も織機の奏でる音が響き、いわゆる「ちりめん街道」に風情を与えています。



加悦町加悦伝統的建造物群保存地区